

星野尚の絵画

Takashi Hoshino, Taracea:
45 años de Actividad Creativa

星野尚

タラセア



45年の歩み

2026年7月17日(金)——8月23日(日)

[会場] 宝塚市立文化芸術センター(たからば)メインギャラリー

[開場時間] 10時～18時(入場は17時30分まで) [休館日] 毎週月曜日、7月21日(火) ※7月20日(月・祝)は開館

[主催] 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 [後援] 駐日スペイン大使館、宝塚市教育委員会

[お問い合わせ] 宝塚市立文化芸術センター(たからば) 0797-62-6800

《アルバイン(塔)》70×55.5cm 2025年



Takarazuka Arts Center



aecid



タラセアは、天然木を切り取り、組み合わせる「象嵌^{ぞうがん}」の技法で模様や風景を描き出す、スペインの伝統工芸です。チーク、桜、ケヤキ、ブナ、縞黒檀など約80種の木を使い、着色せず自然の質感や色彩を生かして表現します。星野尚の作品は、この技法に独自の工夫を重ねて生み出されたものです。木には長い年月を生きてきた証が木目や節、温かな色つやとして宿っています。作者は木々と向き合いながら一片一片を組み合わせ、移ろう時間や人々の暮らしを巧みに表現しています。

イスラム文化圏で発展した象嵌や寄木装飾の流れを背景に、ヨーロッパの木工装飾と響き合いながら発展したタラセアは、幾何学模様を中心とした装飾として王宮や教会の天井、壁、扉などを彩ってきました。星野尚はスペイン・コルドバでその技術を学び、世界でも数少ないタラセア作家として制作を続けています。自然の木々が織りなす色彩や光沢、生命の輝きを宿した木の絵画をぜひご鑑賞ください。

星野尚 | Takashi Hoshino

1955年兵庫県生まれ。高校卒業後、渡辺宏氏に師事。1978年にスペイン・コルドバの美術学校「ESCUELA DE ARTES APLICADAS Y OFICIOS ARTÍSTICOS "MATEO INURRIA"」に入学。卒業後帰国してからは山内宥蔵氏に師事。その後タラセア作家として活動を開始し2026年で制作活動45年目を迎える。宝塚市在住。



[観覧料]

一般:700円 友の会(タカラティエ):500円 高校生以下:500円

※各種割引あり。詳しくはWebサイトをご確認ください。※未就学児無料。
※小学生以下のお客様は保護者同伴でご入場ください。※当日中であっても再入場はできません。



[チケット販売方法/窓口販売]

- 宝塚市立文化芸術センター メインギャラリー(10時~17時30分) 月曜休館
- 宝塚ソリオホール(9時~17時) 会期中は無休
- 宝塚ベガ・ホール(9時~17時) 水曜休館
- 宝塚文化創造館(9時~17時) 月曜休館

関連企画

詳しくはWebサイトをご覧ください →



●コンサート

吉川二郎
コンサートフラメンコギターと
ギタールパの調べ

[日時]8月1日(土) 14時開演

[会場]宝塚ベガ・ホール

[出演]吉川二郎、野口久子



●ワークショップ

木片でつくるモザイク画

[日時]中学生まで:7月26日(日) 高校生以上:8月2日(日) ①10時30分~ ②14時~

[会場]文化芸術センター キュープホール [講師]星野尚



●トーク

星野尚ギャラリートーク

[日時]8月11日(火・祝) 11時~ [会場]文化芸術センター メインギャラリー



《屋根(アンダルシアの白い村)》61.5×51cm 2025年



《ローデンブルグ》76×89cm 2010年



《港》71×79cm 2023年



《ベンチ》53×71cm 2004年



宝塚市立文化芸術センター

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7-64

JR宝塚駅・阪急宝塚駅から徒歩約11分 / 阪急宝塚南口駅から徒歩約6分